

招 集 期 日	令 和 4 年 2 月 21 日 ( 月 )		会 議 の 場 所	教 育 委 員 室
会 議 の 時 刻 及 び 宣 告 者	開 会 の 時 刻	午 後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉 会 の 時 刻	午 後 2 時 30 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 教 育 長 職 務 代 理 者	欠 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	細 村 学 校 教 育 部 長	橋 本 学 校 教 育 課 長	須 永 教 育 総 務 課 長	
書 記 名	教 育 総 務 課 総 務 係 横 山			傍 聴 人 無 し
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会	教 育 総 務 課 長	本 日、傍 聴 人 は 無 い。		
		第 1 回 臨 時 教 育 委 員 会 を 開 会		
	教 育 長	柿 沼 教 育 長 職 務 代 理 者 は 都 合 に よ り 欠 席 で あ る。 教 育 委 員 会 の 会 議 は 公 開 が 原 則 と な っ て い る が、人 事 に 関 す る 案 等 に つ い て 出 席 委 員 の 3 分 の 2 以 上 の 多 数 で 議 決 し た 場 合 は 非 公 開 と す る こ と が で き る。本 日 の 日 程 の 中 で 議 案 第 4 号 は、人 事 に 関 す る 案 件 の た め、非 公 開 と し て よ ろ し い か。		
	教 育 長	異 議 な し の 声 あ り		
	教 育 長	議 案 第 4 号 を 非 公 開 と す る。		
	教 育 長	報 告 事 項 1 に つ い て、教 育 総 務 課 長 か ら 説 明 を 求 め た。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第1 報告事項1 羽生市小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針(案)パブリック・コメントの結果について</p>	<p>教育総務課長</p>	<p>令和4年1月11日から2月10日までの期間でパブリック・コメントを実施し、市民4人から28件の意見が提出された。</p> <p>結論を先に申し上げますと、市の対応はすべて「計画案のとおり」としている。</p> <p>各意見の内容と、それに対する市の考え方について説明する。</p> <p>意見番号1の項目番号1は、基本方針案を一部変更したことが良かった、案の決定過程が明確にされていればよかったという意見であった。市の考えとして、保護者や地域住民から意見をいただき、基本方針(案)を一部変更したこと、検討過程は随時情報提供していくこととした。</p> <p>項目番号2は、義務教育学校の設置とそれまでの過程についての提案であり、これに対しては、小学校の再編成時には施設分離型の小中一貫校とし、将来的に義務教育学校を設置すること、提案については、西・南中学校区の再編成を再検討する際の参考とすることとした。</p> <p>項目番号3は、PTA等との話し合いや他の自治体の先行事例の研究が必要というものであり、そのとおりに取り組んでいくこととした。</p> <p>意見番号2から4は、再編成に反対の立場からの意見であった。</p> <p>意見番号2の項目番号4は、再編成の白紙撤回の要求であった。これに対しては、羽生市の将来の子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるために、再編成が必要であることの理由を述べた。</p> <p>項目番号5は、地域を大切にしたいという思いが薄れ、アイデンティティの喪失につながるという意見で、これに対しては、地域に関する学習は再編成後も継続し、子どもたちの郷土愛を育むとした。</p> <p>項目番号6は、避難所に関する意見で、閉校となっても当面の間避難所として残ること、将来の避難所の計画については、羽生市地域防災計画の中で検討していくとした。</p> <p>項目番号7から項目番号13までは、過疎対策、農業、市街化調整区域などについての意見、提案であったが、これらに対しては、今後のまちづくりの参考とさせていただくとした。</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>項目番号 14 は、学校がなくなることによるコミュニティの消滅を危惧する意見であった。これに対しては、地域とともに市全体でまちづくりに取り組んでいくとした。</p> <p>項目番号 15 は、子どもたちのフレイル予防についての意見で、これに対しては、スクールバスの通学となった場合でも、学校での体力づくり活動を充実に取り組むとした。</p> <p>項目番号 16 は、数十年単位での再編成でも遅くはないのではという意見であった。これに対しては、項目番号 4 と同様に、速やかに再編成の必要があるとした。</p> <p>意見番号 3 の項目番号 17 は、三田ヶ谷小学校の再編成について再検討を望むとのことであったが、項目番号 4、16 と同様の回答とした。</p> <p>項目番号 18 は、三田ヶ谷小学校で行われている特色ある教育を継続して欲しいとの意見で、これに対しては、継続するよう努めるとした。</p> <p>項目番号 19 は、過疎化対策についての意見であったが、項目番号 14 と同様の回答とした。</p> <p>意見番号 4 の項目番号 20 は、地域住民や子どもたちの意見を聴いて欲しいという意見であった。これに対しては、地域住民等と十分に協議・調整を行う。子どもたちにも丁寧に伝えていくとした。</p> <p>項目番号 21 は、義務教育学校に関する意見で、対応は項目番号 2 と同様とし、校舎や学校の新設については、小学校の再編成時には困難であるとした。</p> <p>項目番号 22 及び 23 は、空き家バンク、市街化調整区域に関する意見であり、これに対しては、まちづくりの参考とさせていただくとした。</p> <p>項目番号 24 から項目番号 28 までは、小規模校、少人数学級にはメリットがあるので、三田ヶ谷小学校を残して欲しいという意見であった。その中で、項目番号 26 は、複式学級についての意見であるが、複式学級は課題が多いので、そうならないクラス編成が必要とした。項目番号 24、25、27 及び 28 は、項目番号 4 などと同様、速やかに再編成の必要があるとした。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項1について、質問・意見を求めた。
	平野委員	感情的な意見が多いように感じた。学校と地域はもちろん関係はあるが、10年単位では今の子どもたちを守れない。大人の10年と子どもの10年は同じではないということ、1クラスしかないというデメリットが御理解いただけていないようである。すべてに目が届いて、すべてのことが解決できれば良いが、そのようなことはなかなか難しい。1クラスしかない逃げ場がなくなってしまう、場合によっては命にかかわる問題になるかもしれない。人数が少ないことのデメリットばかりを強調すると大変申し訳ないが、取り返しのつかないデメリットもあるということを、もう少し理解していただく方法はないものかと思う。
	教育総務課長	人数が少ないことのデメリットについては、これまでも説明をしてきたが、どうしても少人数がいいという意見があることも確かである。今後も、デメリットの部分について、将来の子どもたちに良くない影響もあるということを強調しながら、理解を得られるよう説明を尽くしていきたい。
	高瀬委員	三田ヶ谷地区の住民から3件の意見の提出があり、その中で、「白紙撤回」という強い表現もあった。三田ヶ谷地区の他の方はどのように考えているのか。
	教育総務課長	反対意見の他に賛成意見もある。このような理由で反対しているのはいかななものか、子どもが少なくなっているので、再編成はすぐにでも必要だという賛成意見を寄せた方もいた。保護者アンケートの結果においても、三田ヶ谷地区の小学生のいる保護者では、賛成の割合が53%であり、反対一色ではない。
	学校教育部長	2月10日に、自治会連合会の三田ヶ谷支部の会議に参加し、学校の再編成について説明した。三田ヶ谷地区の自治会長全員が出席した。多くの自治会長から、「子どものことを考えたら分かるけれども、地域のことを考えたら・・・」という意見をいただいた。元三田ヶ谷小学校 PTA 会長、体育振興会からは、学校の再編成について賛成という意見をいただいている。

会議事件名	て ん 末	
	岩崎委員	<p>学校がなくなってしまうことは、過疎化、地域の衰退につながるという意見があったが、果たしてそれは学校がなくなることで原因ではないと思う。学校が井泉小学校と再編成したとしても、地域を活性化する方法も沢山あると思うので、再編成の先のことも検討しつつ、学校の適正規模・適正配置を進めていただきたい。</p>
	教育総務課長	<p>今後、学校の再編成を進めるに当たって、(仮称)再編成準備委員会を立ち上げて検討していくことになるが、その中でも、地域の活性化や跡地利用などは、市全体の問題であるため、市長部局と教育委員会が一体となって取り組んでいければと思う。学校には地域コミュニティの核という役割があるかもしれないが、公民館など地域の拠点となるものは他にもあり、自治活動は地域が主体となって行うということもある。地域住民と市とが一緒になって地域を盛り上げていくという形で話し合っていければと考えている。</p>
	平野委員	<p>現在の羽生市の色々な政策が、市の西の方を重点的に進んでいるように感じるので、そういった点も含めての意見だと感じている。先程の学校教育部長の発言の中にあった「子どものことを考えたら分かるが」という言葉のように、地域の今後を心配する気持ちは強いと思う。子どもに地域のことを押し付けるなという考え方もあると思うが、実際には、それではどうにもならないジレンマを感じている地域もあると思うので、市全体として学校の再編成と地域の活性化との同時進行が必要だと思われる。</p>
	教育総務課長	<p>市全体の問題であるため、市長部局と連携を密にして一緒に考えていきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 議案第4号 県費負担教職員の任命等の内申について</p>	教育長	<p>議案第4号は、会議を非公開とする。</p> <p>(会議非公開 可決)</p>
	教育長	<p>これより会議を公開とする。</p>
	教育長	<p>その他、委員から意見等はあるか。</p>
	平野委員	<p>新型コロナウイルスについては、羽生市でも感染者が多くなってきた。学校ではどうしても密な状況になってしまい、十分気を付けていても感染してしまうこともある。対策としてできることを今までも十分行ってきたと思うが、それ以上のことが必要な状況に陥ってしまっている。県からも通達が届いているようであるが、更なる対策を考え、児童生徒を守っていただきたい。</p>
	教育長	<p>羽生市教育委員会としても、羽生市医師会の要望を受け、学校ではなるべく分散登校をする等の対策を実施していく。危機的状況であり、一歩でも二歩でも進まなければという御指導をいただいたので、感染防止に関する取組を進めて参りたい。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>3月定例教育委員会は、3月23日 午後3時30分より、301会議室にて開催する。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>